

研究課題名	当院でがん薬物療法を受ける患者のアピアランスに関する認識と支援ニーズ
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 看護部（オレンジ5階）氏名 福岡弘子
研究期間	臨床研究倫理委員会承認後 ～ 2024年 3月
研究の意義・目的	がん薬物療法は、多様な副作用を有するが副作用に対するガイドラインの制定と支持療法の進歩によって、身体的苦痛を伴う副作用はかなり緩和できるようになってきました。一方で外見に現れる副作用は、患者様にとって身体的副作用の中でも苦痛度が高いですが、直接生命にかかわらないことからタイムリーな情報提供やセルフケア指導がされづらい傾向があります。がん薬物療法を受ける患者様にとって、外見の変化は身体的な問題にとどまらず心理的・情緒的な苦痛を伴い、社会活動や対人関係に変化を与えています。そこで、当院でがん薬物療法を受ける患者のアピアランスに関する認識や支援ニーズを明らかにし、アピアランスケア体制整備のための一助とすることを目的とした研究を行うこととしました。
研究の方法 (対象期間含む)	○研究デザイン：調査研究 がん薬物療法を受ける患者様を対象に先行研究を参考に作成した選択的 回答と自由記載による無記名式の書面調査を行います。得られた結果 は、単純集計および自由記載の内容は質的に分析を行います。  ○研究対象者 2023年8 - 9月に当院でがん薬物療法を受ける患者様 100名
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む)  ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目  ③利用する者の範囲  ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①当院でがん薬物療法を受ける患者のアピアランスに関する認識と支援 ニーズを明らかにするため、患者様に記載していただいたアンケート内 容を活用し、当院におけるアピアランスケア体制整備のための一助とし ます。  ②患者様に解答いただいた書面調査の内容  ③研究責任者 武蔵野赤十字病院 看護部（オレンジ5階）福岡弘子 研究分担者 武蔵野赤十字病院 看護部（緩和ケアセンター）加藤千 恵美  ④武蔵野赤十字病院 看護部（オレンジ5階） 福岡弘子
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 看護部（オレンジ5階） 氏名 福岡弘子  TEL：0422-32-3111（代表）6812（事務局内線） FAX：0422-32-3525